

糖尿病・内分泌内科 後期臨床研修プログラム

1. 研修の基本方針

- 当科では、一般内科診療を基本に据えた上で、subspecialityとしての糖尿病・内分泌学の高度な専門性を発揮することができる医師を養成します。
- 当科では、全身の内分泌臓器（下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、膵臓、性腺、脂肪組織）の障害や代謝状態の悪化を疾病と生活背景から理解・整理し、最新の知見と他の診療科やメディカルスタッフとの連携、社会資源の有効利用等を通じて、最良のチーム医療を構築、提供できる専門医を育成します。

2. 研修の内容

研修期間：原則として専門医申請要件となる3-5年間とする。

第1年次（前半）

・日本内科学会認定医を取得していない場合

認定内科医資格試験の受験要件に含まれる症例をすべて経験できていない場合は、必要な症例の病棟主治医となり診療にあたる。その際は、当科以外での研修を短期間（3カ月程度）ローテーションする場合もある。

・日本内科学会認定医を既に取得している場合

専門研修を始める前に、当科と診療連携の濃厚な腎臓内科、心臓内科、眼科、皮膚科などの研修を希望する場合は、この時期に短期間(3カ月程度)当該科をローテーションする。

第1年次（後半）～第2年次

・勤務形態

糖尿病・内分泌内科の入院病棟において、指導医のもとで入院患者の主治医として診療を行う。（勤務時間外、土日祝日は当番制で指導医とともに緊急患者の対応にあたる）

研修の到達状況によって、糖尿病・内分泌専門外来での研修を開始する。

・糖尿病学

糖尿病とその病型診断、症例毎の最適な治療を立案し、その実践にあたる。糖尿病は、個々の症例で発症に至るまでの生活背景や合併症の程度、疾病そのものに対する認識も異なるため、より多くの症例を受け持ち、標準的な検査(血液、尿検査、75g OGTT、グルカゴン負荷試験、CGMS、合併症評価)や食事療法、運動療法、経口血糖降下剤やBOT、強化インスリン治療を経験する。

糖尿病教育入院においては、講師として糖尿病や生活習慣病の集団教育に関わる。

・内分泌学

入院適応となる主な内分泌疾患は下垂体（プロラクチノーマ、末端肥大症、クッシング病、非機能的腫瘍、ラトケのう胞、下垂体炎）や副腎疾患（アルドステロン症、褐色細胞腫、サブクリニカルクッシング、クッシング症候群）である。内分泌試験を立案、実行し、自律分泌能の有無、分泌予備能、障害部位を判定し、適切な診断と治療を導き出す。

性腺領域については、泌尿器科や婦人科と連携しながら院内の紹介患者を中心に学ぶ。

糖尿病・内分泌内科 後期臨床研修プログラム

・チーム医療

他職種（糖尿病認定看護師、CDE、薬剤師、管理栄養士、理学療法士）を含めた症例検討会を毎週行っている。特に糖尿病の分野では、メディカルスタッフとの相互連携において日常診療が成り立っていることを念頭に置いて、症例の丁寧なプレゼンテーションを行い、それぞれの職種で専門性を発揮しやすい情報の発信を心がける。

・その他

同時期に配置された初期研修医の上級医として教育、指導を行う。

指導医の指定した文献、または受け持ち症例の診療に必要な文献を検索、熟読し隔週のJournal Clubで報告する。

この時期には日本内科学科、糖尿病学会、内分泌学会を中心として症例報告を含めたプレゼンテーションを積極的に行う。

第3-5年次

・勤務形態

第2年次までの病棟主治医に加えて、第3年次からは、指導医と並んで糖尿病・内分泌内科の専門外来を2-3単位担当する。院外研修を希望する場合は、1単位/週程度は他病院等で学ぶ機会を設ける。

・糖尿病学

これまでに学んだ専門的な知識と経験を背景に、糖尿病を合併した他科入院患者の血糖コントロールを行う。ここでは周術期の血糖コントロール、Sick dayの対応、膵全摘や胃切除症例、糖尿病合併妊娠、ACS症例が多く含まれる。また、この時期に糖尿病性昏睡の症例を管理可能な範囲で経験する。

・内分泌学

第2年次との大きな違いは、外来研修が始まっているため甲状腺疾患、副甲状腺を診療する機会が大幅に増えることである。また、内分泌疾患は多種多彩な臨床症状や血液、生化学検査の異常を呈するため、それらを見逃さない診療をすることが重要である。指導医と並んで外来研修を開始し、毎日の新患カンファレンスでそのクオリティを保つ。

外来患者で甲状腺穿刺吸引細胞診の適応がある場合は、患者さんに必要性を説明した後、外来で安全に施行する。甲状腺PEITや131I内用療法などの治療経験を希望する場合は、関連医療機関にて院外研修を行う。

・チーム医療

毎週行うメディカルスタッフとのカンファレンスでは、進行役を務めチーム医療の要としてその役割を発揮する。

・その他

この時期には病棟、外来の診療に関して糖尿病・内分泌専門医として独り立ちすることを目標とする。

国内外の学会や講演会に積極的に参加し、臨床研究の重要性を学び、当施設でも可能な臨床研究を立案、実行し、学会、論文投稿などでその成果を発表する。

糖尿病・内分泌内科 後期臨床研修プログラム

週間または月間スケジュール

- ・症例検討会（入院症例を中心に検査計画、治療方針の決定を行う）1回/週
- ・メディカルスタッフとの症例検討会 1回/週
- ・新患カンファレンス 月～金毎日
- ・Journal Club 隔週
- ・入院糖尿病教室 10日/月

3. 当科は下記の学会の研修制度に基づく認定施設です

- ・日本糖尿病学会 認定教育施設
- ・日本内分泌学会 認定教育施設

4. 研修責任医師

日本内科学会認定医

総合内科専門医

井上 篤

日本糖尿病学会認定専門医・指導医

日本内分泌学会認定専門医・指導医

他、糖尿病専門医2名、内分泌専門医1名が指導にあたります。